



おいしいリーフ茶をPR！

12月3日（火）、町と大崎町茶業振興会、曾於地区茶業振興会は、合同で町内6小学校へリーフ茶を贈呈しました。

これは、ペットボトル茶消費が定着している反面、リーフ茶（茶葉）消費が減退傾向にあることから計画されたものです。

柳原修一町茶業振興会長は、「1煎目、2煎目はおいしく味わって、3煎目はうがい用に利用してください。また、残った茶がらは肥料としても使えますので有効利用してください。」とリーフ茶の消費拡大と特色およびおいしいお茶の入れ方などをPRしました。



▲町内産のリーフ茶『一煎パック』が贈呈されました。



くにの松原でクロマツ植樹！

12月8日（日）、『くにの松原にクロマツを植えよう！』と題して、ボランティアによる植栽活動が行われました。

これは、NPO法人森と木の研究所（代表理事：大坪弘幸）が主催したもので、参加した約120名は、抵抗性クロマツ400本、アキグミ、シャリンバイ、トベラ各200本の植え付けのほか、除草や落ち葉かき作業を実施しました。

作業終了後は子どもたちを対象とした『木工教室』も行われ、木の温もりや良さなどを体感していました。

参加した方からは、「大切な地域資源である松林を次の世代に引き継いでいければ。」と話されていました。



▲1本1本丁寧に植栽されました。



戦争遺跡を学ぶ！野方小学校6年生

11月28日（木）、野方小学校の6年生17名は、町内や鹿屋市の戦争遺跡の見学会を実施しました。

戦争遺跡見学は総合学習の時間に行われ、地元の戦跡を知り、歴史を学ぶことを目的に行われたものです。

児童らは、『四季の森』（西持留）から林道を15分ほど歩いた山の斜面にあるコンクリート造りのトーチカ（小型防除陣地）跡を訪問しました。今は前面に樹木が生い茂っていますが、銃眼が志布志湾に向かっていている様子に興味深そうに確認していました。その後児童らは、鹿屋市へ移動し、海軍航空隊申良基地跡や地下の通信壕跡などを見学しました。



▲トーチカ跡を見学する野方小学校6年生たち